

避難情報等の発令について



気象情報、避難情報などの伝達の流れ



※ 災害に関する注意報や警報が発表されたら、市からの情報に注意して下さい。

→ : 気象情報、災害予報の流れ

→ : 避難情報 (避難指示・避難勧告・避難準備) の流れ

警戒レベル及び避難情報について

警戒レベル	【避難情報等】 行動を促す情報	【発令時の状況】	【避難行動】 住民が取るべき行動
宮崎市が発令	5 災害発生情報	<ul style="list-style-type: none"> 既に災害が発生している状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> 生命を守るための最善の行動をとる。
	4 避難指示 (緊急)	<ul style="list-style-type: none"> 災害の前兆現象の発生や切迫した状況から、人的被害が発生する可能性が非常に高まっている状況、または実際に人的被害が発生した状況です。 	<ul style="list-style-type: none"> 危険な場所から速やかに避難先へ避難する。 避難に時間的な余裕がない場合、山の斜面の反対側、家の2階、近所の安全な場所に避難するなど、生命を守る行動をとる。
	3 避難準備・ 高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> 指定区域の危険な場所にいる人が避難を始めなければならない。 人的被害が発生する可能性がさらに高まっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 危険な場所から開設されている指定避難所等へ速やかに移動を開始する。
気象庁が発表	2 洪水注意報 大雨注意報	<ul style="list-style-type: none"> 災害の危険が迫っていると自ら判断した場合、「自主避難」しましょう。 指定避難所等へ避難する場合は、最寄りの総合支所、地域センター、地域事務所へ連絡し、自主避難先を確認した上で避難して下さい。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難に備え、自らの避難行動を確認する。
	1 早期注意情報		<ul style="list-style-type: none"> 災害への心構えを高める。

非常時持ち出し品の準備



災害発生時には、水や電気などのライフラインがストップし、長期間必要な物資が手に入らない場合もあります。家庭状況によって必需品は変わってきますので、各家庭で**最低3日分、可能な限り1週間分以上の備蓄を準備**するよう心がけましょう。備蓄は、「非常時持ち出し品」と「備蓄品」の2種類に分けて準備しましょう。

※非常時持ち出し品：災害発生直後の避難時、緊急的に自宅から持ち出すもの（1日分程度）。

※下記一覧を参考に、必要なものをリュックサックなどに入れて、玄関付近に置いておきましょう。

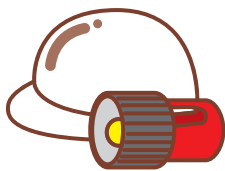
非常時持ち出し品(例)

- 貴重品 -



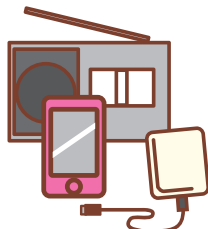
- 現金 運転免許証
- 健康保険証 印鑑
- 自宅や車のスペアキー

- 避難用品 -



- 懐中電灯 ヘルメット
- ハザードマップ

- 情報収集手段 -



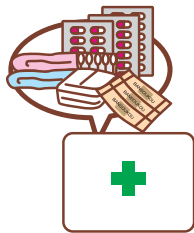
- 携帯電話 携帯ラジオ
- 筆記用具 乾電池
- 充電器・バッテリー

- 食料品等 -



- 飲料水（500ml3本以上）
- 非常食（乾パン等）

- 緊急医療品 -



- 持病薬 お薬手帳
- 包帯や傷薬 絆創膏
- ウェットティッシュ

- 感染症対策用品 -



- マスク 体温計
- 消毒液 スリッパ

- 生活用品 -



- 毛布 大型ハンカチ
- 衣類 タオル 雨具
- カイロ ライター

- 個別用品 -



- 生理用品 化粧品
- 母子手帳 離乳食
- 眼鏡 入歯 おむつ

ローリングストック法



ローリングストック法とは、普段消費している食料品や日用品を、少し多めに購入しておき日常生活の中で使い切った分を買い足していく方法です。食べながら備えるため、消費期限が短いレトルト食品等も非常食として使えます。

備蓄品(例)

- 衣類品 -

- 下着・上着 毛布
- 手ぬぐい
- タオル

- 食料品 -

- お茶やアルファ化米
- レトルト食品・缶詰
- カップ麺

- 飲料水 -

- 飲料水（1日1人3L）
- 生活用水（日頃から水を溜める）

- 燃料 -

- カセットコンロ
- 予備のボンベ
- 固形燃料

- その他 -

- 皿・コップ・箸 缶きり ラップフィルム
- 新聞紙や段ボール ガムテープ ゴミ袋 石鹸
- テント・タープ 寝袋 ランタン ろうそく